

馬術部 全国大会出場(「個人」「団体」)

2位 三村大河さん 3位 楠原颯馬さん

令和6年8月7日(水)～9日(金)、北海道苫小牧市にあるノーザンホースパークにて、第35回全日本高等学校馬術選手権大会(個人戦)が行われました。本校地からは3年生の楠原颯馬さんと三村大河さんが出場しました。

シード選手として、既に本戦への出場権を持っていたふたりですが、地区予選も1・2位で勝ち抜きを決め、3年連続の全国大会に臨みました。特に今年、三村さんは誰も実現したことがない「二連覇」を目指し、去年は4位だったライバル・楠原さんがそれを阻もうとする、という図式があり、期待は高まりました。

第2回戦の馬場馬術からの出場であったふたりは、これまで多くのシード選手が涙を呑んだ第3回戦の障害飛越を、それぞれのグループからトップ通過で決め、さらに準々決勝の馬場馬術も突破して、ベスト4へと進出を決めました。

準決勝は障害飛越、最初に臨んだ2人の選手がそれぞれ障害を1つずつ落としたため、楠原さん・三村さんが1つも落とさなければ、蒜山校地のふたりによる全国大会決勝戦、という、夢のような舞台が待っている…その時、私は、ほんとうに神にでも祈るような気持ちで、二人の飛越を見つめていました。

閉会式。蒜山校地馬術部の「夢」は、ほんのわずかの先にあって、無情にも私たちの指をすり抜けていきました。ただ、全校生徒68人という小さな学校から、表彰台に二人も上っている姿には、惜しめない拍手が送られていました。

ご支援・ご指導、応援をしてくださった蒜山ホースパークの皆様、地域の方々、そして蒜校の生徒のみなさん、ありがとうございました。あの夏、私たちが北の大地に残してきた「夢」を、後輩たちが叶えてくれる。その日が来ることを心待ちにしています。(引率教員:内田)



蒜山校地馬術部(谷口日向さん、山下智加さん、三村大河さん、楠原颯馬さん)は、中国四国地区代表として7月25日(木)から静岡県御殿場市で行われた第58回全日本高等学校馬術競技大会(団体戦)にも出場しました。

富士山の麓で、真夏の日差しを浴びながら生徒たちは最後の最後まで全力で人馬一体となって競技しました。(引率教員:吉田)



勝山高校蒜山校地 学校新聞

ひるこう タイムズ



第249号 R6.8.23

毎月25日発行

勝山高校蒜山校地 探究・情報課

katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp

蒜校生がりポート!

ひるこうタイムズ記者
(取材・撮影・記事執筆)
蒜山ABC部(文化部)

2年生:林田・高橋

3年生:明村・山中

※ ●は生徒、●は教員担当の記事

行事予定

8月

26日(月) 始業式・課題考査

30日(金) SC 来校日

9月

6日(金) 三座祭(文化の部)

7日(土) 三座祭(体育の部)

9日(月) 7日代休

体育の部予備日

12日(木) SC 来校日

13日(金) 1年類型・科目選択説明会(6限)

14日(土) 3年マーク模試(希望者)

16日(月) 就職試験開始

19日(木) SC 来校日

20日(金) 生徒会役員選挙

27日(金) ウォーキング大会

10月

9日(水)～11日(金)

2年修学旅行

20日(日) ヒルコウ学校説明会

23日(水)～25(金)

中間テスト

※行事予定は、諸事情により変更・追加されることがあります。ご了承ください。

EVENT

●学校設定教科「CP」成果発表会／蒜山ミライ会議

去る7月20日(土)、蒜山振興局大会議室において、標題のイベントを開催しました。

◎午前：『学校設定教科「CP」成果発表会』

午前中は、1年生の「プロジェクトインターンシップ」と3年生の「HIRUKO Sun3 FES」についての成果発表を行いました。1年生は大勢の聴衆を前に発表することは初めてでしたが、体験したことと自己の変容について一所懸命に発表する姿が印象的でした。また、3年生は数多くの経験に裏打ちされた堂々の発表で、高度なスライド作成技術、会場の空気感の把握力、間の取り方や強弱を駆使した話術など、余すところなく発揮できていました。

午前中の最後は、兵庫県立村岡高等学校の「集落調査班」の取り組みについての発表がありました。高校と地域が協働する様子がよくわかりました。村岡高校とは、2年前の10月に行われた「村高フォーラム」で、当時の3年生が「蒜香プロジェクト」についてポスター発表をさせていただいた縁があります。縁をつなぐべく画策しましたが、蒜校も村高も雪深い土地にあり、1月開催の成果発表会に招待することはできませんでした。今年度は7月開催になりやっと招待が実現しました。

(参加者：一般25名、村岡高校3名＋蒜校全校生徒、教員)



◎午後：『蒜山ミライ会議』

午後は、「地域を変える」～学習交流センターアイディアソン～をテーマに、蒜山ミライ会議を開催しました。まず、「蒜山(蒜校)の魅力は?」、「蒜山(蒜校)にないものは?」についてグループディスカッションをしました。その後、「ないもの」が同じまたは似たもの同士で集まって、「ないものねだり」から「あるものさがし」をして、来年度開設の「学習交流センター」を使った地域活性のためのアイディアづくりを行いました。「他人を傷つけたり、相手を攻撃する発言をしない」と「発言を否定しない」という約束の下、終始和やかな雰囲気、参加者が意見やアイディアを次々に発表していました。多様な他者による、「蒜山のミライ」について考える楽しい会になりました。どなたでも参加可能ですので、次回開催の折には、奮って参加いただければ幸いです。

(参加者：一般10名、村岡高校3名＋蒜校有志生徒、教員)

※作成したポスターは蒜校職員室前に掲示しています。



TEACHER

●Mao(マオ)先生 最後の授業

3年間、蒜山校地にお越しにいただいていたALTのMao(マオ)先生が母国に帰られることとなりました。最後の授業では、生徒と一緒に楽しく様々なゲームをして盛り上がりました。さらに授業の最後には生徒から花束と色紙をプレゼントしました。

Mao先生、3年間ありがとうございました！



【お知らせ】

令和6年度の蒜山校地「三座祭」は、文化の部を9月6日(金)、体育の部を9月7日(土)に開催します。多数のご来場をお待ちしております。